

5 3. ^{やぎゅうかいどう}柳生街道

選定箇所：奈良～柳生（奈良県奈良市）

概要：奈良町から春日山の麓を北東に進み、忍辱山円成寺の前を通り、柳生に至る江戸時代の街道である。近世に柳生藩が設置されると、柳生陣屋と奈良町を最短距離で結ぶ街道として重要な役割を果たした。また、多く武芸者が柳生家に兵法指南を請うためにこの道をたどった。春日山の麓を通る能登川沿いの道筋は、「滝坂道」とも呼ばれている。道端には石仏が立ち並び、柳生藩が奈良奉行所に敷かせた石畳の道が断続して今日も残る。

